インターネットによる防災情報の入手先

泉大津市
このマップや緊急災害情報が確認できます。
https://www.city.izumiotsu.lg.jp/

おおさか防災ネット
府内の防災関連情報や関連サイトなどが確認できます。
http://www.osaka-bousai.net/

大阪管区気象台
気象情報や防災気象情報などが確認できます。
https://www.data.jma.go.jp/osaka/

国土交通省　川の防災情報
全国の雨量情報や河川の水位情報などが確認できます。
https://www.river.go.jp/

スマートフォン用アプリ等による防災情報の入手

COSMO CAST（コスモキャスト）
防災行政無線の放送内容などをスマートフォン用アプリで受け取ることができます。

端末がiOS（iPhone,iPad）の場合

端末がAndroidの場合

VACAN Maps（バカンマップス）
パソコンやスマートフォン等から、各避難所の位置や混み具合をリアルタイムで確認することができますので、避難時にご活用ください。

関西停電情報
登録した地域で停電が発生または復旧した際に通知します。また、停電の復旧見込み時間などが確認できます。

LINE
泉大津市の公式 LINE アカウントでは、災害時など緊急のお知らせのほか、イベント情報や市からのお知らせなどを発信しています。是非友だち登録をお願いします。
アカウント名：泉大津市　ID：@izumiotsu-city

その他 SNS
Twitter（@ozuminofficial）やFacebook（@Izumiotsucity）、Instagram（@Izumiotsu_official）にも公式アカウントがありますので、是非登録してください。

緊急時の連絡先

名称	電話番号	名称	電話番号
泉大津市役所	0725-33-1131（代表）	大阪府臨土木事務所	072-273-0123（代表）
泉大津市消防本部	0725-21-0119	NTT（電話の故障に関する相談）	0120-444-113
泉大津警察署	0725-23-1234	NTT（電話の新設・移転・各種相談）	0800-200-0116
泉大津市立病院	0725-32-5622	関西電力送配電（株）	0800-777-3081
大阪管区気象台	06-6949-6304	大阪ガス南部導管部（ガスもれ専用）	0120-3-19424
大阪府本庁	06-6941-0351（代表）	大阪ガス南部事務所（総合受付）	0120-3-94817

防災行政無線の自動応答サービス　0800-200-3890
防災行政無線の音声が聞き取れなかった場合に、電話で聞くことができます。

ラジオによる防災情報の入手　【FM いずみおおつ（85.5MHz）】
パソコンやスマートフォンがなく、市ホームページやSNSでの災害緊急情報を確認できない方は、是非、ラジオでFMいずみおおつ（85.5MHz）から情報を入手してください。

災害伝言ダイヤル 171 の使い方

171
- 伝言を録音する時は 1 →（○○○○）□□−□□□□ → 伝言を吹き込む
  被災地の人は自宅の電話番号を、
  被災地以外の人は被災地の人の電話番号を市外局番から入力
- 伝言を再生する時は 2 →（○○○○）□□−□□□□ → 伝言を聞く

発行：令和4年3月　泉大津市危機管理課　　協力：さんだ女子防災部（特定非営利活動法人ミラクルウィッシュ）

泉大津市 保存版 2022
総合防災マップ



目次

災害種別	ページ番号	起因災害 地震	起因災害 大雨	起因災害 台風
地　震	P.11 ~ P.13	○		
津　波	P.14 ~ P.16	○		
内　水	P.18		○	○
洪　水	P.19 ~ P.20		○	○
高　潮	P.21 ~ P.22			○
ため池	P.23 ~ P.24	○	○	○

はじめに

阪神・淡路大震災、東日本大震災、そして、私たち泉大津市民も経験した平成30年台風21号。
大きな災害のニュースを見たり、経験したりして、
「水や食べ物を蓄えておこう。」・「避難先を考えておこう。」と思った人も多いと思います。
ところが、時間が経つにつれ、災害の怖さを忘れ、「時間がない。」・「始め方が分からない。」などの
理由で、結局は何もしないままになっていませんか?
確かに、防災対策は時間やお金がかかります。でも、日頃の少しの手間が災害時に大きく役立ちます。
必要な備えは、人それぞれ。この総合防災マップは、皆さんに、限られた時間の中で効率的に
防災に取り組んでいただくため、様々な目線から防災のポイントをまとめました。
災害が起きた時、外部から支援が届き始めるまでに3日はかかると言われています。
ガス・電気・水道も止まるかもしれません。そんな時のために大切な「家庭の備え」。
何をしておくべきか、家族で意見を出し合ってみましょう!

1 地震がきたら!

いのちを守る! ケガをしないように工夫する!



❶ 姿勢を低く

❷ 頭を守る
(机の下など)

❸ ゆれがおさまったら
避難する

自宅周辺の震度は?
P11へ

テーブルや机などの下にもぐり身を守る。
足は出ないように注意!



ガラスや陶器が落ちて割れるおそれがあります。破片を踏まないように注意!



火の元よりもまずは自分の身を守ること。
震度5程度以上の揺れを感知するとガスは自動的にとまるようになっています。



たいせつな家族の 命を守る「安全対策」の例

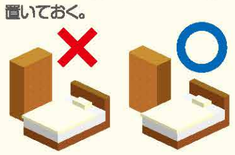
家具の固定

L字金具などで固定する。
2段重ねの家具は、つなぎ目を金具で連結させる。



家具の配置を工夫

(特に子どもや高齢者の部屋)
倒れても下敷きにならない家具の配置にする。寝室にスリッパや靴を置いておく。



ガラスの飛散防止

窓ガラスに飛散防止フィルムをはる。または、強化ガラスに替える。食器棚のガラスにも飛散防止フィルムをはる。



カーテンなどを閉めておくだけでもガラスの飛散を軽減できます。

収 納

家具の上など、高いところに重い物を置かない。重い物は家具の下部に、軽い物は上部に収納する。



2 家族を守ろう!

自分の状況確認
・ケガをしてないかチェックしよう。
・何が起こったのか正しい情報をチェックしよう。



救助要請が必要なとき
笛を吹いたり、モノをたたいたりして、音を出して自分の居場所を知らせます



被害がないとき
(不在家族への安否確認)
家族との連絡方法は決まっていますか?



周囲の確認
・足を怪我しないように室内でも靴かスリッパをはくこと!



火災が発生したとき
閉じ込めからの救出、初期消火。
周囲に呼びかけながら避難します



近隣の被害確認
・建物、設備の被害の状況
・隣人の安否確認・救助
・状況によっては、支援を開始



家族の安否確認
・誰もケガをしていないか確認しよう。



情報収集
地域や自治体の状況の確認



裏表紙参照

津波情報を確認
・津波警報、大津波警報が発表された際は、南海本線より東の避難目標地点へ避難しよう。南海トラフの地震発生後、約95分で津波が到達すると想定されています。

P15 参照

会社から帰って来れないかも!?
一斉帰宅による混乱を防ぐため、大阪府は事業主に「従業員の一斉帰宅の抑制」をお願いしています。対策として「従業員の施設内待機」「最低3日分の備蓄」など。会社からすぐに帰って来れないかもしれません。



室内の被害確認
・ライフライン、ドアの開閉、家具の被害、通信状況を確認しよう。



避難の判断
・自宅にいるのか、避難所や友人・知人宅へ避難するのか各自で判断しよう。



P4 参照

ブレーカーをオフ!!
自宅を離れる際はブレーカーをオフに!
通電火災に注意!



こんなことにも要注意!

災害に備えて、こんなことにも気をつけてください。

●緊急時の連絡手段の確保!
子どもと離れているときに地震が発生した場合に備えて、子どもには保護者の緊急時の連絡先を書いたメモをいつも持たせましょう。



●充電器・バッテリーは必須!
災害が発生した場合、いつライフラインが復旧するかわかりません。充電器やモバイルバッテリーはいつでも使えるように準備しておきましょう。



●体質にあった特殊なものは要注意!!
物流が滞った場合、アレルギー対応食品なども手に入りにくくなります。アレルギー対応食品や常備薬は、十分に備蓄しておきましょう。



●かならず確かな情報を!
災害が発生した場合、デマなどに惑わされてはいけません。必ず、市や国、気象庁などの公的機関から情報を入手しましょう。

泉大津市HP

●ため水が役立つ!
お風呂の水は、水道が止まったときにも、トイレを流す水として利用できますので、お風呂を使ったあとの水は貯めておきましょう。



●家族、命、ほんとうに大切なものを考えて!
災害が発生したときは、無理に仕事に行ったりせず、家族や自分の命を守ることを最優先にしましょう。



●不安を一人で抱えこまないで
親が不安を抱えていると、子どもも不安な気持ちになります。一人で抱え込まずに「怖かったね」と家族や友達と気持ちを共有するなどして落ち着きましょう。

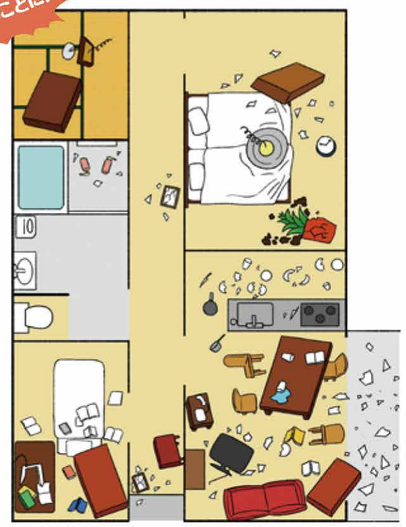


●通信にも配慮を
災害が発生した場合、大量の安否確認連絡による混線で通信ができなくなったり、受信者も返事に手間がかかり、他のことができなくなることがあります。被災地への安否確認は、災害が少し落ち着いてからにしましょう。



3 地震がおきると、家でも、学校でも、どこでも 落ちる！倒れる！動く！

こんなことに！




図書室


ろうか


げんかん（下足場）


運動場

!! 自分の身は 自分で守ろう!!

大地震がおきたとき、とっさの行動が生死を分けます。
すぐに行動するには、からだで覚えるしかありません。
家族で話し合い、ふだんからイメージして実際に訓練しましょう。


近くにあるもので、まず頭を守る。


動けそうなら机などの下に隠れ、机の脚をしっかりつかむ。

こんなことにも要注意！ 避難が長期化する地震災害に備えましょう！

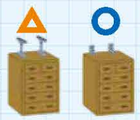
●台所はキケンがいっぱい！

食器やガラス製の家具のほか、窓なども強い揺れで割れる可能性があります。食器棚の扉はなるべく固定できるものにしてください。また、ベッドの下や枕元には、運動靴を置いておきましょう。



●家具の固定はマスト！

就寝時に大きな地震が発生して家具の下敷きになったり、ガラスが飛散したりすると大変危険です。つっぱり棒は強い揺れで外れてしまうことがあるので、なるべくネジで固定しましょう。



●避難所でも盗難が！

避難所には貴重品も持って避難しているため、盗難にあうおそれがあります。貴重品は肌身離さず持ち歩くようにしましょう。



●壊れた家屋にも盗難が！

玄関を開けて避難経路を確保できても、建物の歪みで閉められなくなる場合があります。その場合、盗難被害にあう可能性がありますので、貴重品は避難時にすぐに持ち出せるようにしておきましょう。



●車のガソリンは満タンに！

大きな災害の場合、道路も通れなくなって物流が途絶えてしまい、給油できなくなってしまう可能性があります。
車中泊で避難する場合は、携帯電話の充電やエアコンをかけるためにもガソリンが必要になりますので、なるべく普段から満タンにしておきましょう。



●エコノミークラス症候群にも注意！

車の中で避難の際はエコノミークラス症候群にも注意。長時間同じ姿勢にならないよう、適度に歩くようにしましょう。



●のどが渇かない食料を！

災害時には、水や食料が大変貴重です。
備蓄する食料は、なるべく喉が渇かないようなものを用意してください。
水が手軽に入手できるようになるまでは、塩分が多いものは控えましょう。



4 水害は あっという間！ 「まだ大丈夫」は危険！

警戒レベル4 避難指示で必ず避難!!

	警戒レベル		新たな避難情報等
こうなるともう遅い… 屋内で身を守ろう	5	災害発生又は切迫	緊急安全確保※1
	〈警戒レベル4までに必ず避難！〉		
この時!! 避難完了	4	災害のおそれ高い	避難指示※2
避難を開始しよう	3	災害のおそれあり	高齢者等避難※3
避難する時の準備をしよう	2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
情報をあつめよう	1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁）

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状態です。
警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されました。
これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。 P25 参照

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、
警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

知ってた? 大人は50cm、子どもは30cmの浸水で、もう逃げられなくなるヨ!!



浸水10cmで、小柄な女性が後退。横にひっぱられる力が強く、歩行困難となる。
浸水30cmで、ひざの高さ（30cm）以下、くるぶしの高さ程度で、約6割の女性が転倒。
浸水60cmで、乗用車が流れ出す。浸水100cmで、強固な板塀（厚さ3cm）が壊れるほどの威力。

P18、P19 参照

5 いざ逃げる！

避難とは、安全な場所に身を置くこと！

一時避難場所
火災などの際に、一時的に逃げる場所。公園などが指定されています。



市指定避難所
自宅が被災した時に生活をする場。小・中学校や公民館など。



在宅避難
自宅が安全なら在宅で。しっかり備蓄しておきましょう。



親戚宅・友人宅
「もしもの時はよろしくね！」と予め約束しておきましょう。



ホテル・車中泊
ホテルの立地や車の駐車場の危険チェックも忘れずに！



福祉避難所
障がいや介護など、特別な支援が必要な人のための避難所。
※一般の避難所が開設された後、必要と判断された場合に開設されます。



避難場所も災害の種類によっては危険な場合があります。

CHECK!!

◇（参考：JISで制定されている図記号）



家の近くにどんな場所があるか、普段から意識しておきましょう。
海の近くに出かけた時は、津波避難場所・津波避難ビルをチェックしましょう。

洪水・津波のときは…
高い所へ、海・川の遠くへ



中央防災会議より国民の皆さんへ
●行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。
●避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。皆さんの命は皆さん自身で守ってください。

6 非常時にホントに役立つ! 防災グッズを備えよう

0次の備え
いつもバックに

いつどこで被災するかわからないため、「非常持ち出し品」として備えるものの中から、携帯できそうなものは、いつも持ち歩くようにしよう!



□ 小銭　□ モバイルバッテリー　□ 鏡・口紅・リップ・ヘアゴム　□ 携帯トイレ(節水)　□ ばんそうこう　□ マスク　□ 保温ブランケット　□ 家族の写真・連絡先



□ 衛生用品・ナプキン・おりものシート　□ 消毒液・ウエットティッシュ　□ 大判ハンカチ(マスク、止血に)　□ 氷砂糖・飴　□ 常備薬　□ ビニール袋(シート、防寒、水を運ぶ等)　□ ライト　□ 飲み物

1次の備え
非常持ち出し品

いつ災害が発生してもおかしくありません。家族環境にあわせた「非常持ち出し品」を用意し、いつでもすぐに持ち出せるようにリュックなどにコンパクトにまとめよう!



□ 飲料水(500ml×ペットボトル3本)　□ オムツ・おしりふき・ポリ袋　□ ミルク・離乳食・おやつ　□ スプーン・紙皿・紙コップ・はし　□ ウエットティッシュ・ティッシュペーパー



□ 子ども用歯ブラシ　□ ライト　□ 母子手帳　□ 現金　□ 着替え・靴　□ 常備薬　□ その他・抱っこ紐・ほにゅうびん

さらにあると便利!

□ 子どもが好きなもの
「これさえあれば子どもがご機嫌!」という、お菓子やおもちゃなど、子どもの心がほぐれるグッズ。



□ 新聞紙
暖を取ったり紙食器を作ったり。

withコロナのいま必要

□ マスク
□ 消毒液
□ 体温計(電池も)



2次の備え
お家にストック

ライフラインが使えなかったり、買い物ができなかったりする状況がしばらく続くかも!
基本的な食べ物や生活用品を蓄えておこう!



□ 水(ひとり1日3Lを目安に)　□ 食料　□ トイレ用品　□ ランタン・ヘッドライト　□ モバイルバッテリー　□ ポータブル電源



□ 救急セット　□ 衛生用品・ナプキン・おりものシート　□ 携帯ラジオ　□ 電池　□ カセットコンロ・ボンベ・湯煎可能なポリ袋などの調理器具



□ ほうき・ちりとりなど電気を使わない掃除用具
□ 体ふきシート・ドライシャンプー・冷却シート・カイロなどの季節のもの
□ その他、家族の連絡先を書いたもの、ハザードマップをみて何が起きるのか知る事、心構え

その他の備蓄品
あると便利な備蓄品も用意しておいてください。100円ショップでも売っています。



□ 給水容器　□ 保温ブランケット　□ カイロ　□ レインコート　□ 笛・ホイッスル　□ 携帯トイレ　□ 電池・ライト　□ ポリ袋　□ ラップ　□ 冷却シート　□ ばんそうこう



□ 使いすてパンツ　□ 体ふきシート　□ はさみ(さいほうセット)　□ 油性ペン(名札、伝言を残す)　□ 養生テープ・ガムテープ　□ 歯ブラシセット　□ 除菌シート(洗顔、お風呂代わりに)　□ メガネ(コンタクトは大変)　□ ヘッドライト　□ 軍手(ワレモノだらけで危険)

※100均で購入したものは、電池がすぐなくなったり、繰り返し使うには向かないものや長持ちしないものもあるので注意しよう!

7 避難所に行っても 全員分の 食べ物がない?!

巨大地震など発生直後は、ライフラインも壊滅状態となり、水や食料の不足が予想されます。
さらにアレルギー対応食や幼児用の食事は手に入りにくくなります!

備えておきたい 非常食



□ 飲料水
1日3ℓ×家族の人数×7日分



□ 缶詰・レトルト



□ スープ(フリーズドライ)



□ 乾物



□ 漬物
伝統的な保存方法で。



□ 家庭菜園
庭やベランダ等も活用して菜園を。



□ 冷凍食品
自然解凍できるものが便利。



□ 乾麺・即席麺・カップ麺

乳幼児を持つご家庭は、離乳食・液体ミルクや食べられるおやつを多い目に備蓄しましょう。



□ 離乳食・液体ミルク・おやつ

CHECK!!

ローリングストックで美味しく食べて楽しく備蓄!

定期的(1か月に1,2度)に食べて
食べた分を買い足し備蓄していく方法です。
- 普段食べなれているものを多めに
- 賞味期限が数か月でもよい
- 液体ミルク・離乳食・アレルギー対応

など家庭にあったものを備えましょう!



7日間の食事の仕方

1〜3日分
冷蔵庫や食料庫がいつもいっぱい!
それも備蓄です!

冷蔵庫・冷凍庫の食材を活用

氷は溶かして飲料水として活用も可能。



食パンや野菜などは、自然解凍により食べることも可能。



停電時、クーラーボックスや保冷剤を活用して食材の保存を。

4〜7日分
美味しい備蓄を多めに用意し、
食べたら買い足す
「ローリングストック」をぜひ習慣に!

ローリングストック法で備蓄した非常食を活用



●備蓄する食料・水を少し多めに用意する。　●定期的に古いものから食べる。　●食べた分を買い足し、補充する。

・野菜や果物の缶詰で栄養補給。
・乾麺はゆで時間の短いものを。
・食欲がない時はスープ類を活用!



長期保存できる非常食より、いつも食べているものが◎
小さな子は非常時でも食べ慣れないものは食べません!!

備えておきたい 調理器具

普段でも使える調理法➔**ポリ袋クッキング**(バッククッキング)
高密度ポリエチレンに食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんする調理方法です。
少ない水で温かい食べ物がつくれます。





□ カセットコンロ
カセットコンロがあればライフラインがストップした時にでも調理できます。



□ カセットボンベ
1日2本×7日分=14本
※家族4人分の目安です。



□ ポリ袋
※耐熱性のポリ袋をお使いください。



□ キッチンばさみ・スライサー
まな板を使わずに調理できて衛生面でも安心。



□ ラップ
食器や紙食器にかぶせると水が節約できる。



□ アルミホイル
フライパンに敷いて調理すると水の節約になる。



□ 水筒(魔法瓶)
乾麺をゆでたり、もどすなどお湯の再利用も可能。



□ ウエットティッシュ
□ お皿・コップ・割りばし(使い捨て)

衛生調理を心掛け汚れたものはウエットティッシュで拭いたり、使い捨てのものや袋を使うなど工夫しましょう。

8 いちばん困る! ストレスになる! トイレが大変!!

東日本大震災が起きてから9時間以内にトイレに
行きたくなった人は78%（調査:日本トイレ研究所）。
でも安易に水を流すのは待って! マンションのトイレの配管は、
上下の部屋とつながっていて破損したら使えません!

避難所のトイレは、狭い、和式、男女共用のところもあり、
便器は足の踏み場もないぐらいに排泄物でいっぱいになることも。



トイレは1日5〜7回
家族の人数分用意しよう!

災害用のトイレは必ず家庭に備蓄しておきましょう!

凝固剤の必要な備蓄数（例）

1日のトイレの回数は5〜7回。
最低でも3日。
できれば7日分の備蓄が必要。

家族4人の場合
5回×7日×4人=140回

140回分のトイレの
備蓄が必要



家族の人数	日数	最低必要数
2人 夫婦	7日分	70回分
4人 父、母、子ども2人		140回分
5人 父、母、子ども 祖父、祖母		175回分

緊急用トイレの作り方

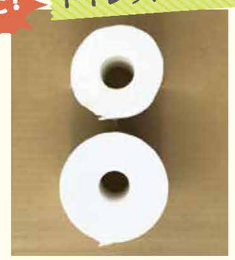


❶ゴミ袋を便座に2重にかぶせる。
❷短冊状に切って、くしゃくしゃにした新聞紙をゴミ袋の中に敷き詰める。
❸用を足した後、水分を固める効果のある凝固剤を上からかける。
❹内側のゴミ袋を取り出し、空気を抜いて口を強く縛る。





知ってた? トイレットペーパーの違い



普通巻
50m、124g、直径10cm

5倍巻
250m、409g、直径12cm

普通巻より2倍巻、5倍巻のものがコンパクトでおすすめ

トイレットペーパーの平均的な使用量は、1人当たり1週間程度で1ロール、4人家族の場合には、1か月で16ロール程度が必要。
日本家庭紙工業会より

※あくまで最低量の目安です。

9 いざという時のために「今」できること 家族で防災会議

大地震が起こったとき、家族が別の場所にいて、離ればなれになることも。
避難場所にはたくさんの人が集まり、すぐ会えるとはかぎりません。
集合場所は時間と場所をピンポイントで決めておきましょう。

たとえば ○○小学校の運動場の鉄棒の前　10時と15時に30分間待つ。



わがやの災害避難カードを作ろう!

水害、津波、地震、火災、など災害によって
複数の逃げる場所を持つことが大切です。

	まず逃げる所（避難場所）	家に帰れない時に過ごす所（避難所）
水害		
津波		
地震		
火災		

☐ 家族の集合場所は決めましたか?

☐ 家の中の安全対策はできていますか? P1 参照
☐ 家具の固定　☐ ガラス飛散防止　☐ 収納　☐ 家具の配置

☐ 食料・トイレの備蓄はできていますか? P5〜7 参照
☐ 食料　☐ カセットコンロ　☐ トイレ
☐ 飲料水　☐ カセットコンロ用ボンベ

自助 毎年1月17日は「家族防災会議」を開きましょう。



災害対策は、皆さん一人ひとりや家族が協力し、普段から準備しておくことが大切です。
阪神・淡路大震災が起きた1月17日は、泉大津市の「家族防災会議の日」です。
大人も子どもも、色々な視点から意見を出し合って、災害に強い家庭をつくりましょう。

☐ 家具を固定する



大きい家具が転倒・落下すると、ケガや脱出の妨げの原因となります。固定するなど、工夫しましょう。

☐ 食料品や日用品を備蓄する



災害時は、モノが手に入りにくくなります。最低3日分（可能なら7日分）の食料や日用品を備蓄しておきましょう。

☐ 家族で訓練する



災害が起きたつもりで、ライフラインを使わず備蓄品で1日過ごしたり、避難所までの経路を歩いたり、家族で訓練しましょう。

☐ 集合場所・連絡方法を確認する



家族が離ればなれになった時の集合場所や連絡方法を決めましょう。携帯電話が使えない場合も想定しましょう。

☐ 家族の役割分担を決める



地震など急に災害が起きても、とっさに動けるよう、家族の役割分担を決めておきましょう。

例：火元・ブレーカー確認、非常持出品の準備、家の避難口の確保、幼児や高齢家族の避難支援など。



☐ 総合防災マップを確認する

自宅周辺で発生するおそれがある災害を再確認して、防災さんぽ（P9）で避難経路を確認し、マイ・タイムライン（P25・P26）を更新しましょう。

10 普段からやってみよう! 防災さんぽ

お家のまわりの危険や避難所を
市の総合防災マップでまずチェック!
チェックできたら家族みんなで防災さんぽ!!

防災さんぽのやり方

用意するもの



避難場所までが入った自宅周辺の地図

非常持ち出し袋

CHECK!!
- 避難所や避難場所への経路を歩く
- かかる時間もしらべてみる



昼と夜では全然違うので
それぞれ歩いてみるのもオススメ!



街灯・看板など
落ちてきそうなもの



住宅の瓦や窓ガラスなど飛んできそうなもの



通学路や習い事に使う道もチェック



ブロック塀や自転車・花壇・
自動販売機など倒れてきそうなもの

避難時、自転車やベビーカーでは逃げられない!!



小さなお子様は抱っこ、もしくは手をつないで歩く

段差や溝のある場所を歩いて確認



要確認!!

公衆電話　設置場所　検索

災害伝言ダイヤルの使い方は裏表紙を確認してください!!

共助 助け合いのこころ

災害が発生したとき、助け合いのこころはとても大切です。自分の力だけで避難ができない人や逃げ遅れた人を見かけたら、みんなで協力して避難しましょう。

高齢者や傷病者

- 複数の人で対応します。
- 緊急のときはおぶって避難します。



耳が不自由な人

- 口を大きく動かし、はっきりと話しましょう。
- 身振りや筆談などで、正確な情報を伝えましょう。



車いすを利用している人

- 階段では2人以上で援助を。上りは前向き、下りは後ろ向きで移動します。
- 救援者が1人の場合はおんぶひもなどを利用し、おぶって避難を。



目の不自由な人

- つえを持つ手と反対側のひじのあたりに軽く触れるか、腕や肩を貸して半歩くらい前をゆっくり進みましょう。
- 階段などの障害物を説明しながら進みましょう。



外国人

- 身振り手ぶりで話しかけ、孤立させないように。



防災マスターへの道

チャレンジテスト（防災マップ編）

防災クイズに、チャレンジしてみよう。

問題1 屋内にいる時に地震がきたら、やること2つ
（　　）
（　　）
ヒントはP1に！

問題2 たいせつな家族の命を守る家での安全対策で、次のカッコに入る言葉は何かな?
（　　）の固定　（　　）の配置を工夫
ヒントはP1に！

問題3 泉大津市で大地震「南海トラフ地震」が発生したら、約何分で津波がくるかな?
（　　分）
ヒントはP2に！

問題4 避難情報について、災害のおそれがあり、避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人が避難すべきタイミングのことを何というかな?
（　　）
ヒントはP4に！

問題5 避難情報について、災害のおそれが高く、危険な場所の人全員が避難すべきタイミングのことを何というかな?
（　　）
ヒントはP4に！

問題6 大雨などで浸水してきて逃げられなくなる深さはどれくらいかな?
（大人:　　cm）（子ども:　　cm）
ヒントはP4に！

問題7 避難とは安全な場所に身を置くこと。避難先にはどんなところがあるかな?
（　　）（　　）（　　）
（　　）（　　）（　　）
ヒントはP4に！

問題8 家族で決めている避難場所はどこかな?
（　　）
ヒントはP8に！

問題9 避難するときに持ち出すと役立つものを3つ書いてみよう
（　　）（　　）（　　）
ヒントはP5に！

問題10 ライフライン（水道・電気・ガス）が止まっている時に避難する場合、持ち出すと役立つものを3つ書いてみよう
（　　）（　　）（　　）
ヒントはP5に！

問題11 定期的に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法を何というかな?
（　　）
ヒントはP6に！

問題12 一日のトイレの回数が5回とすると、7日分の携帯用トイレの備蓄を家族4人分用意するには、いくつ必要かな?
（　　回分）
ヒントはP7に！

問題13 泉大津市の決めている「家族防災会議」の日はいつかな?
（　月　日）
ヒントはP8に！

問題14 家から一番近くにある公衆電話はどこかな?
（　　）
ヒントはP9に！

問題15 泉大津市で津波はどこの近くまでくるかな?
次から選ぼう。
A　南海電車の線路の近く
B　古池公園（たこ公園）の近く
C　泉大津高校の近く
ヒントはP15・16に！

問題16 泉大津市で洪水の危険性の高い川はどこかな?
（　　川）
ヒントはP19・20に！

問題17 泉大津市で高潮はどこの近くまでくるかな?
次から選ぼう。
A　南海電車の線路の近く
B　古池公園（たこ公園）の近く
C　泉大津高校の近く
ヒントはP21・22に！

問題18 泉大津市の防災無線放送をスマホで聞けるアプリを登録した。
（はい　いいえ）　QRコードは裏表紙に！

問題19 泉大津市の避難所の空き状況が分かるウェブサイトを登録した。
（はい　いいえ）　QRコードは裏表紙に！

問題20 泉大津市の LINE を登録した。
（はい　いいえ）　QRコードは裏表紙に！

答えはこちらから確認できるよ。

★防災マスター度判定★
- ◎ 正解・できた　10問以下　➡ よし！復習して再チャレンジだ!
- ◎ 正解・できた　11問～17問　➡ いいぞ！防災マスターまであと一息！
- ◎ 正解・できた　18問～20問　➡ 防災マスター認定！

1-1 地震の震度はどうなる？

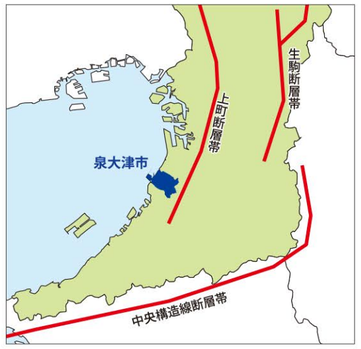
地震は、『内陸型地震』と『海溝型地震』の2種類に分けられます。泉大津市では、どちらの地震も発生する可能性があります。それぞれの地震の特徴と震度を確認しましょう。

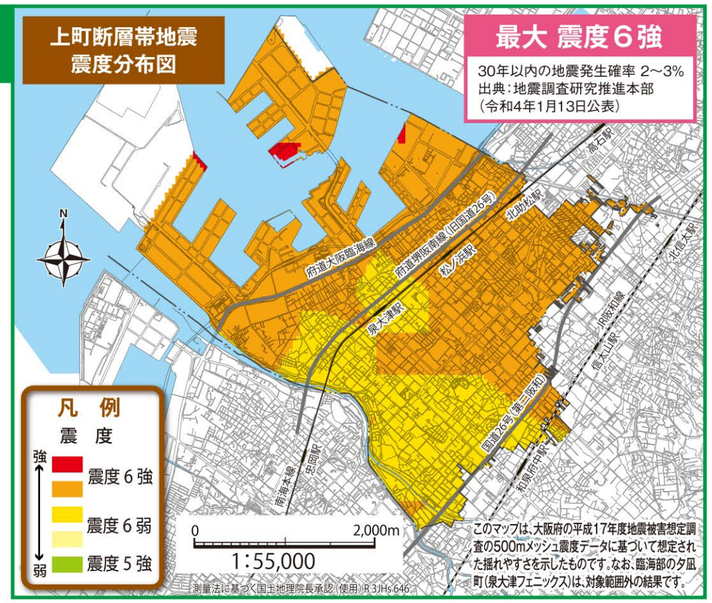
内陸型地震
活断層が原因で起きる地震

特徴
- ガタガタと短時間強く揺れる（阪神・淡路大震災のような揺れ）

泉大津市に大きな影響を及ぼす地震

上町断層帯地震、中央構造線断層帯地震 等



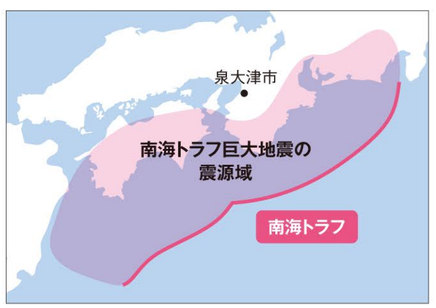


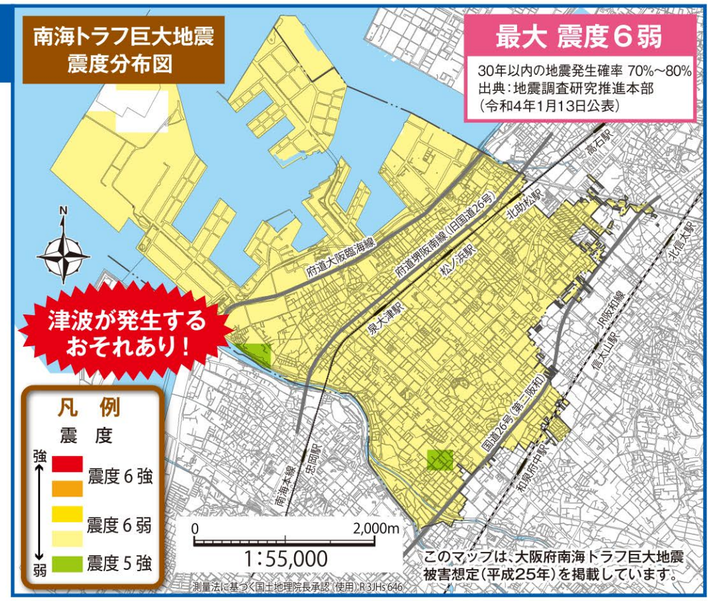
海溝型地震
海底のプレートが跳ね上がって起きる地震

特徴
- ゆっくり、大きく、長時間揺れる
- 数十年から数百年という短期間で、繰り返し発生
- まれにとてつもなく大きな規模で発生
- 津波が発生

泉大津市に大きな影響を及ぼす地震

南海トラフで発生する地震 等





震度と想定被害（震度階級表）
出典：気象庁・震度と揺れ等状況（概要）より



人は、立っている事が困難になります。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがあります。



人は、はわないと動くことができません。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなります。



耐震性が低い木造住宅は、傾くものや倒れるものがさらに多くなり、耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがあります。また耐震性の低い鉄筋コンクリート建物は、倒れるものが多くなります。

1-2 地震の倒壊危険度はどうなる？

倒壊危険度とは、地震による揺れにより全壊する建物の割合を表すものです。市の補助事業等も活用しながら、地震の揺れに備えましょう。

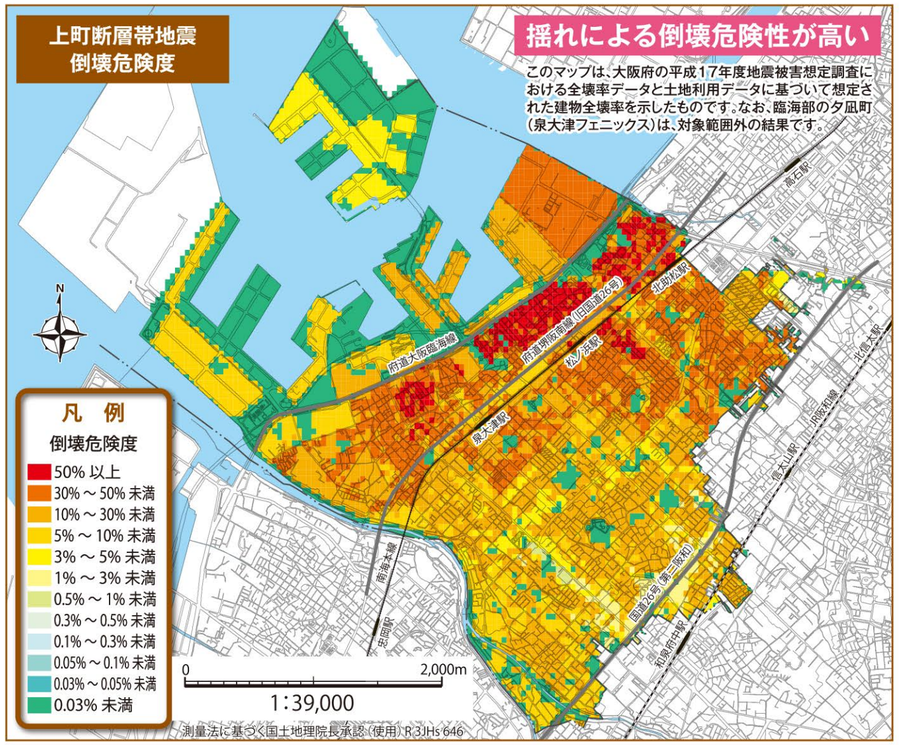
耐震化の重要性

阪神・淡路大震災では、直接被害者の約9割の方の死因が、建物や家具の倒壊による窒息死・圧死でした。中でも昭和56年以前に建てられた古い建物は、倒壊するおそれが高いことが分かっています。



（出典：警察白書平成7年度）


出典：財団法人消防科学総合センター
阪神・淡路大震災 住家被害の様子

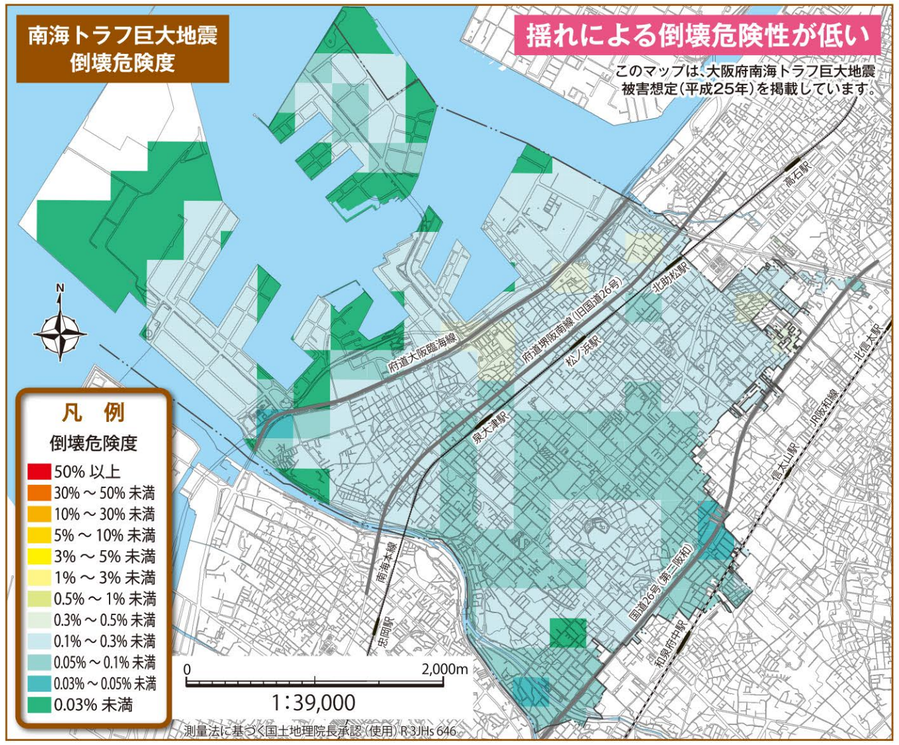


補助事業を活用しよう

泉大津市では、地震に備え既存木造住宅の耐震診断と耐震設計、耐震改修に係る費用の一部を補助しています。補助には対象となる要件などがあります。
詳しくは、建築住宅課までお問い合わせください。

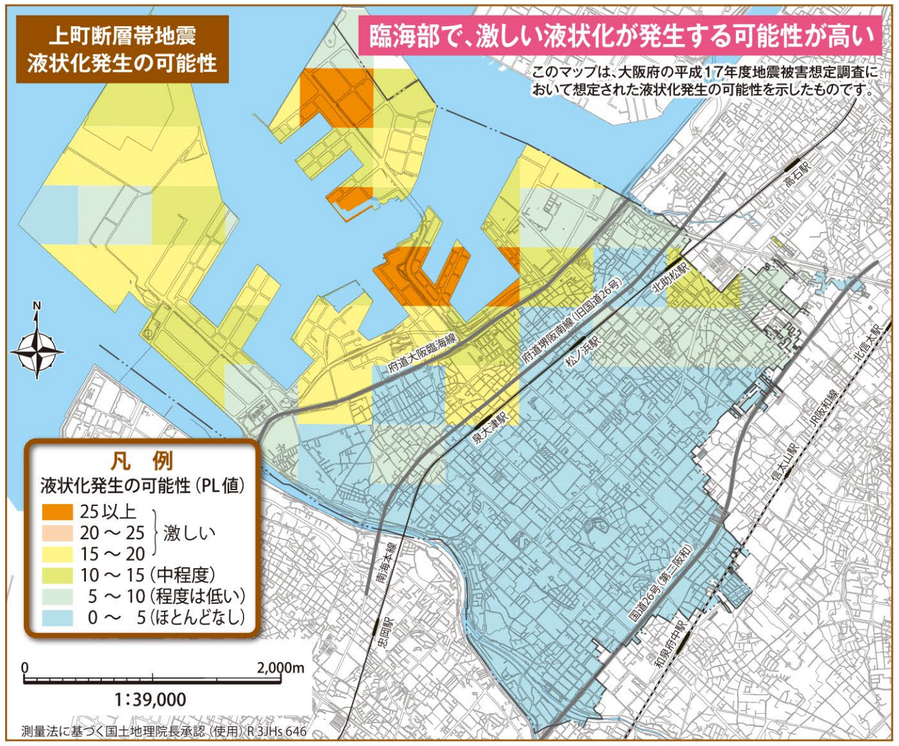
- まずは耐震診断
- しっかり！耐震設計
- あんしんの！耐震補強

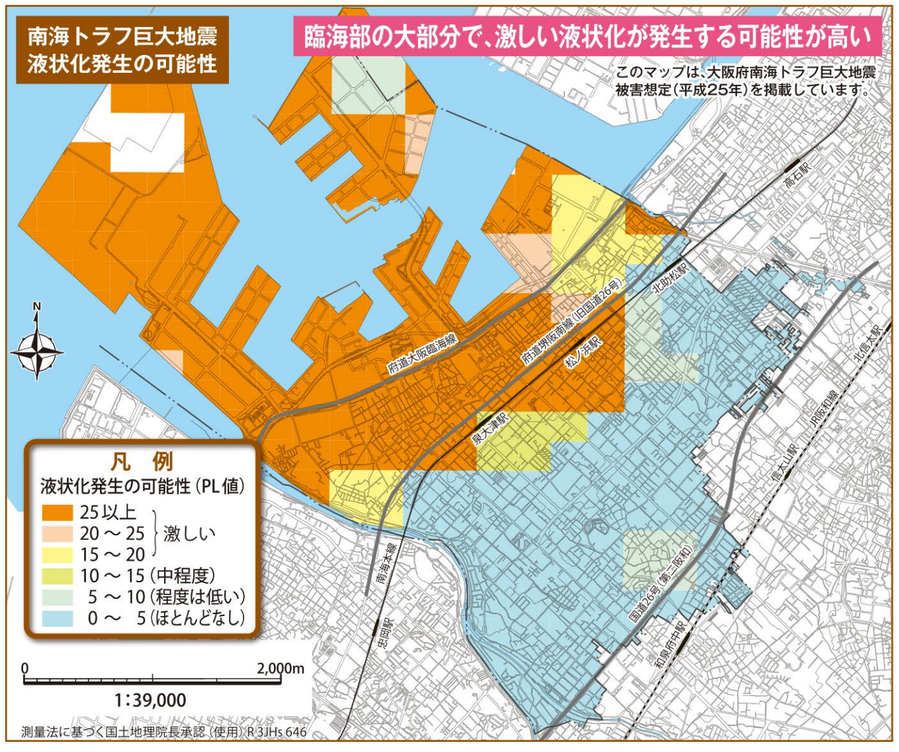

木造住宅耐震化工事の様子



1-3 液状化発生の可能性はどうなる?

このマップは、地震による揺れにより液状化発生の可能性があるかを示した地図です。





PL値とは

PL値とは、液状化発生の可能性を表す指標です。PL値が大きいほど液状化発生の可能性が高く、液状化の程度も大きくなります。

液状化発生のメカニズム

液状化とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しく揺れると、土の粒子が水と混じり合って、一時的に地面が液体のようになることをいいます。
海岸や河川沿いに広がる低地部で液状化の可能性が大きくなると予想されます。



出典：財団法人消防科学総合センター
東日本大震災 液状化により浮き上がったマンホール被害の様子



2-1 津波避難の基本方針

南海トラフでの地震発生後、泉大津市に**約95分で最大4.4m**の津波が到達することが想定されています。身の安全を確保して、強く長い揺れを感じたらすぐに津波の情報を確認し、**南海本線より東の避難目標地点**へ避難しましょう。



津波避難時の心得



地域での協力が大切！



避難は徒歩で！



海岸や川には近づかない！



独自の判断で戻らない！

避難が困難な場合は～垂直避難～

警報の発表を知るのが遅れたときや避難が困難なときなど、十分な時間が確保できない場合は、近くの津波避難ビルへ避難しましょう。津波避難ビルには、入口付近に右のような看板を設置しています。

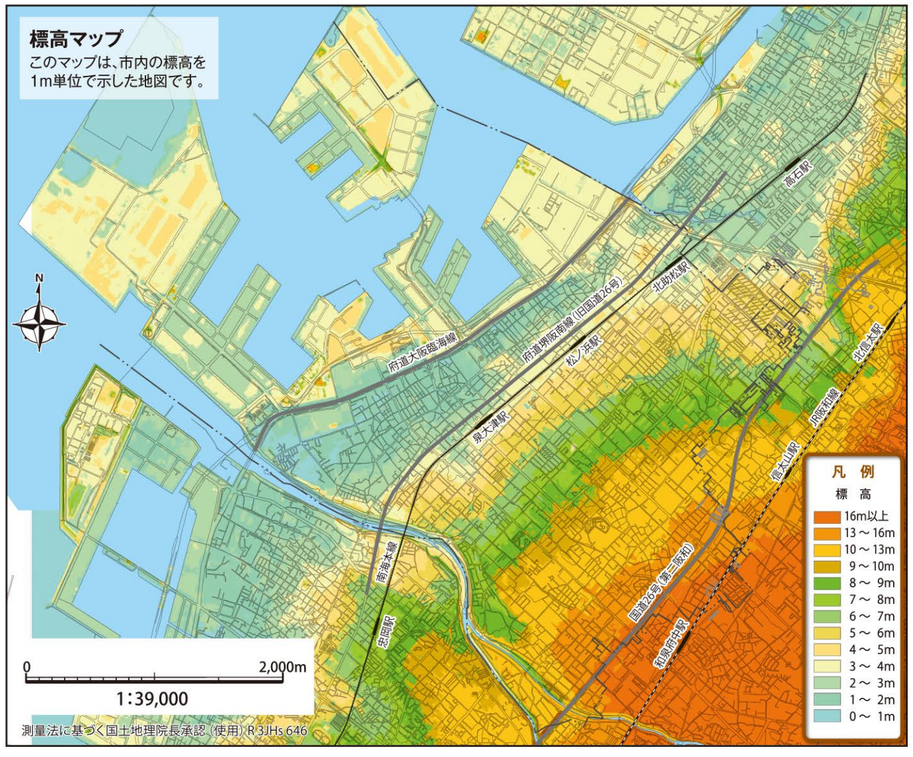


※津波避難ビルとは、津波浸水想定区域等の臨海部及び内陸部にある鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造で新耐震基準（昭和56年施行）に適している建物です。

泉大津市　津波避難ビル

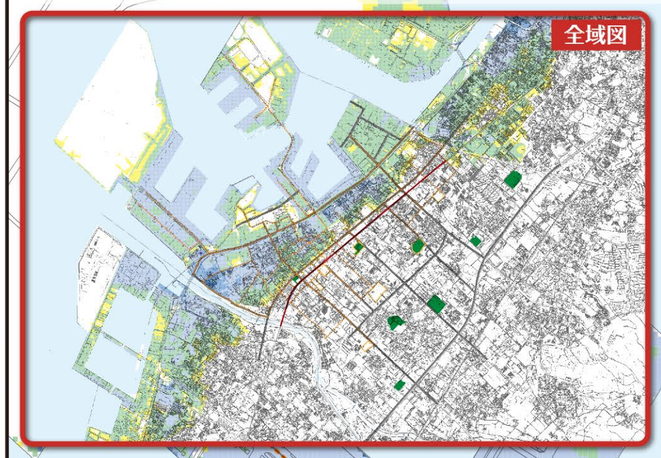
津波から身を守るために

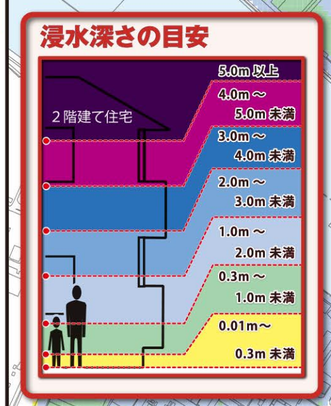
海溝型の地震が発生した場合は、津波の危険性があります。津波から身を守るためには、より標高の高いところに避難することが重要です。標高マップで、お住まいの地域の標高を確認しましょう。



2-2 津波ハザードマップ（市街地拡大）

　このマップは、平成25年8月に大阪府が公表した津波浸水想定区域を示した地図です。





凡　例

- 津波避難目標
- 避難目標地点※
- 一次避難地
- 津波避難ビル
- 指定避難所
- 市役所
- 警察
- 消防署
- 病院
- 避難経路※
- 市指定避難路

津波浸水想定区域

浸水深さ

- 5.0m以上
- 4.0m ～5.0m未満
- 3.0m ～4.0m未満
- 2.0m ～3.0m未満
- 1.0m ～2.0m未満
- 0.3m ～1.0m未満
- 0.01m～0.3m未満

※平成25年度に実施した住民ワークショップで検討した結果を掲載しています。

1:10,000
0　500m　1,000m
0分　15分　30分
（歩行時間の目安）※時速2kmの場合

津波避難ビルの最新情報は市HPで
泉大津市　津波避難ビル

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 646

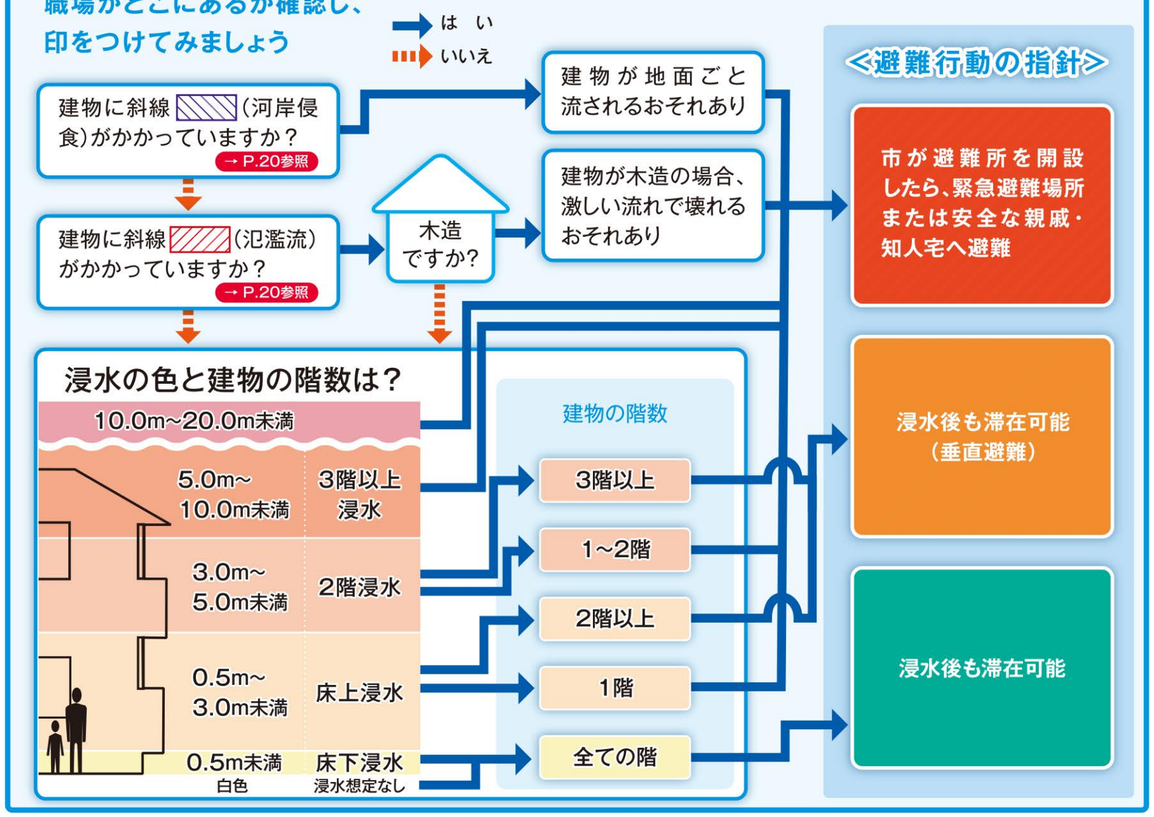
3-1 避難行動判定フローを確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。
「避難行動判定フロー」をハザードマップとあわせて確認し、居住する地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえで、とるべき行動や適切な避難先を確認してください。

避難行動判定フロー　あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ※で自分の家や職場がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう

※ハザードマップは浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。



※浸水後も滞在可能な地域の方も万が一に備えて避難先を考えておきましょう。

避難時の心得

浸水が始まってからの避難や、夜間の避難は大変危険です。気象情報などに注意して、動きやすい服装で早めの避難を心がけましょう。また、逃げ遅れたり、周囲の状況により避難することに危険を感じた場合は、無理に避難所まで行かず、高い所で救助を待ちましょう。

①正確な情報の収集と早めの避難！



最新の気象情報や防災情報に注意し、早めに避難

②動きやすい格好で避難！



手は自由に動かせるようにし、運動靴で避難（長靴は厳禁）

③浸水の中の避難は危険！



やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足下を確認しながら移動

④逃げ遅れた時は！

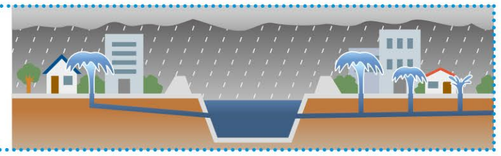


周囲がすでに浸水しているなど、安全に避難できない場合は、自宅の2階等高い場所へ避難

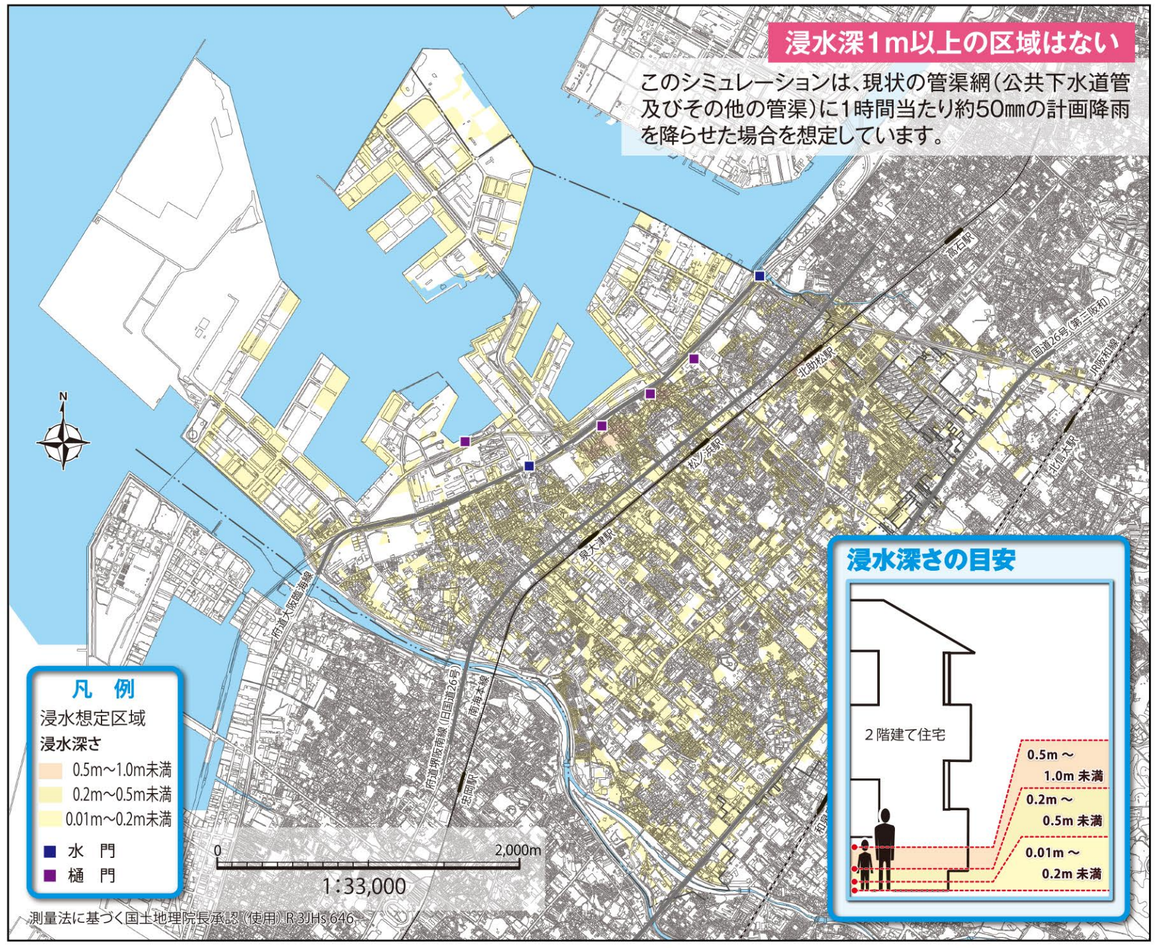
3-2 内水はん濫シミュレーションマップ

内水はん濫とは

一時的に大雨が降ると、側溝や下水道管、排水路で雨水を流しきれなくなることがあります。また、河川の水位が上昇すると、河川から逆流することもあります。このように市街地での水はけが悪化し、建物や土地、道路が浸水することを「内水はん濫」といいます。



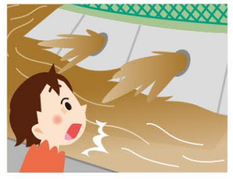
このマップは、大雨により下水道では処理できず浸水する可能性がある範囲と深さを示したものです。下水道の雨水排水能力を超える大雨が降ると、内水はん濫が発生する可能性があります。大雨が降っている時は、気象情報に注意し、地下空間やアンダーパスなどには近づかないように、特に注意しましょう。



局地的大雨（ゲリラ豪雨）に注意しましょう

局地的大雨は、短時間のうちに狭い地域で集中的に降る雨のことです。突発的に降るため、その予測は困難です。気象情報や起きている現象から危険性を判断し、早めの行動を心がけましょう。

短時間で危険な水位



河川、下水管、用水路などは、激しい雨が降ることや、まわりから雨が流れ込むことで、数分から数十分で危険な状態となります。

注意報や警報が出ない雨でも災害が発生する



大雨や洪水の警報・注意報の発表基準に達していないわずかな雨でも、災害が発生するおそれがあります。

離れた場所の雨でも影響する



自分のいる場所で強い雨が降っていなくても、上流で降った雨が流れてきて、危険な状態になる場合があります。

3-3 洪水ハザードマップ 芦田川･王子川･大津川【計画規模降雨】

この洪水ハザードマップに示す浸水想定区域は、水防法に基づき大阪府が解析を行った、大津川･王子川･芦田川の浸水想定区域を掲載しています。

各河川で計画規模降雨と想定最大規模降雨の2種類の浸水想定区域が公表されています。

【計画規模降雨】各河川の整備目標とされている100年に1度程度の降雨

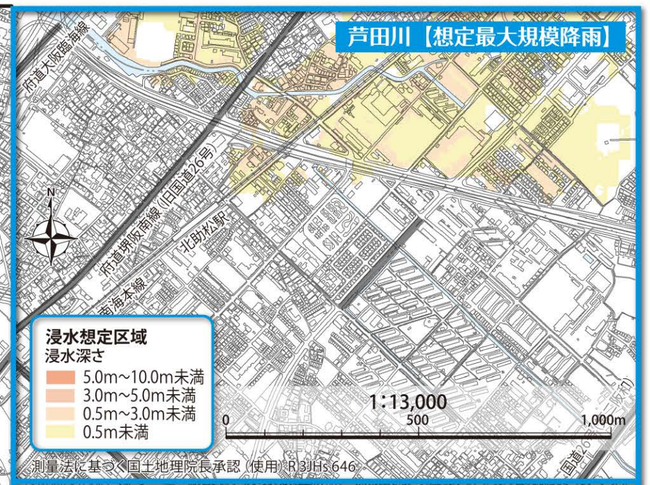
【想定最大規模降雨】各河川の流域で学術的に想定される最大規模の降雨

このマップでは、各河川の計画規模降雨による浸水想定区域をまとめて表示し、河川ごとの想定最大規模降雨による浸水想定区域を別図で示しています。

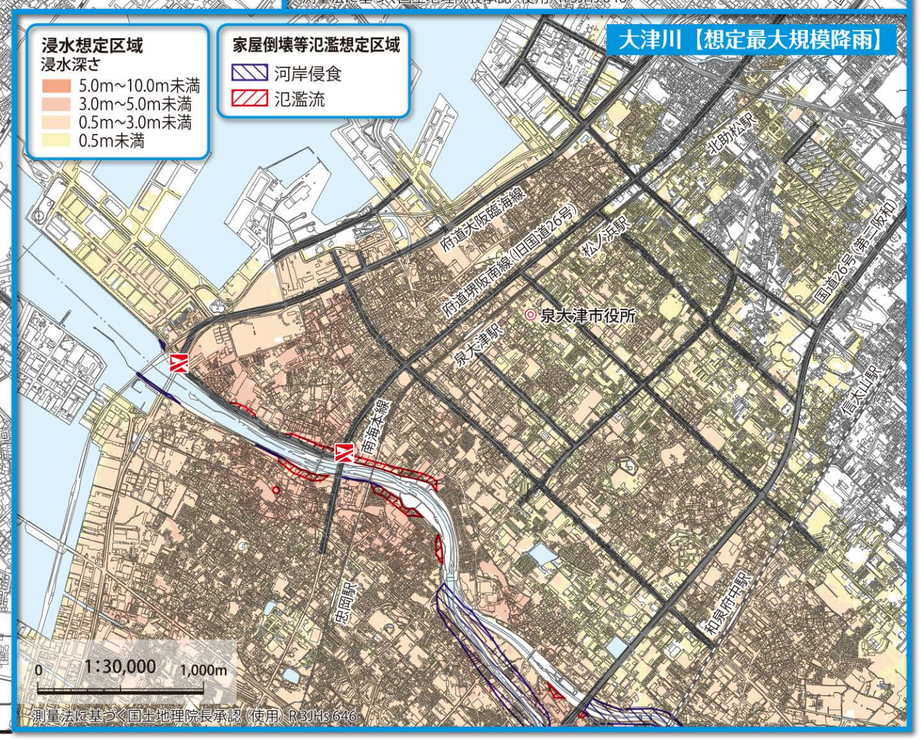
各河川の解析条件となる降雨量は、以下のとおりです。

<解析条件>

対象河川	計画規模降雨		想定最大規模降雨	
大津川	24時間総雨量	345.0mm	24時間総雨量	875.0mm
	1時間最大雨量	86.9mm	1時間最大雨量	101.4mm
芦田川	24時間総雨量	281.3mm	24時間総雨量	1,150.0mm
	1時間最大雨量	77.6mm	1時間最大雨量	144.0mm
王子川	24時間総雨量	259.4mm	24時間総雨量	1,150.0mm
	1時間最大雨量	71.5mm	1時間最大雨量	140.5mm





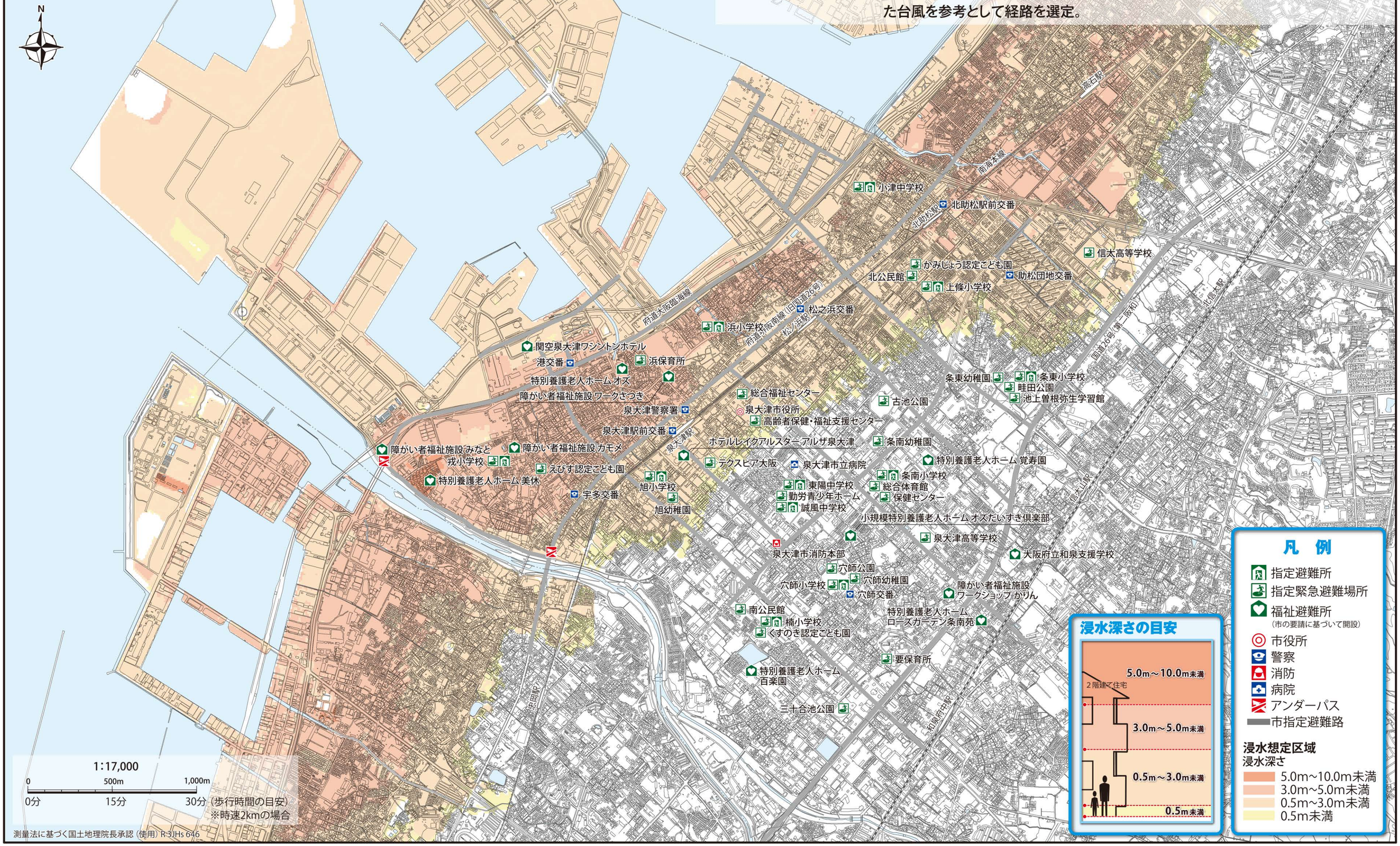


3-4 高潮ハザードマップ

この高潮ハザードマップに示す浸水想定区域は、水防法に基づき大阪府が解析を行った想定最大規模の浸水想定区域を掲載しています。

①想定する台風の規模
・中心気圧：910hPa（室戸台風級を想定）
・最大旋衡風速半径（台風の中心から台風の周辺で風速が最大となる地点までの距離）：75km（伊勢湾台風級を想定）
・移動速度：時速73km（伊勢湾台風級を想定、台風経路上で一定速度）

②想定する台風の経路
過去に大阪湾で大きな潮位偏差を生じた台風や、全国的に大きな被害をもたらした台風を参考として経路を選定。



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 646

浸水深さの目安

凡例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所（市の要請に基づいて開設）
- 市役所
- 警察
- 消防
- 病院
- アンダーパス
- 市指定避難路

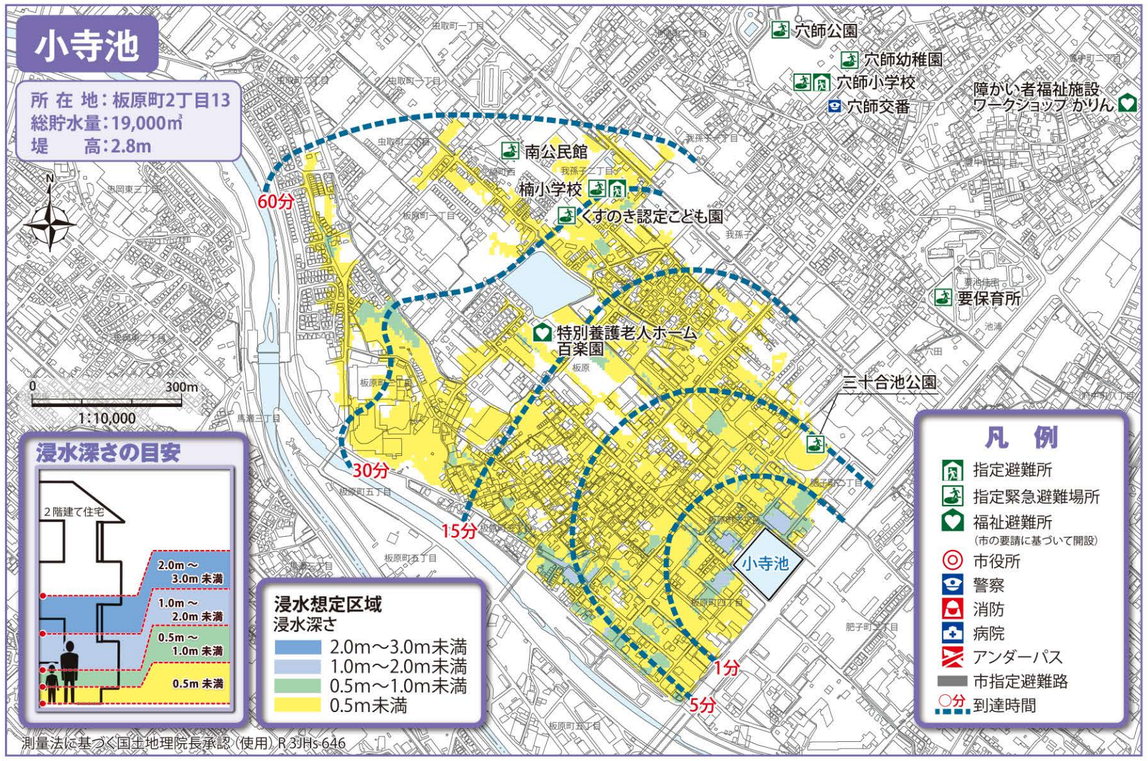
浸水想定区域
浸水深さ
- 5.0m～10.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 0.5m未満

4-1 ため池ハザードマップ

詳しくはウェブサイトをご覧ください。
泉大津市　ため池ハザードマップ

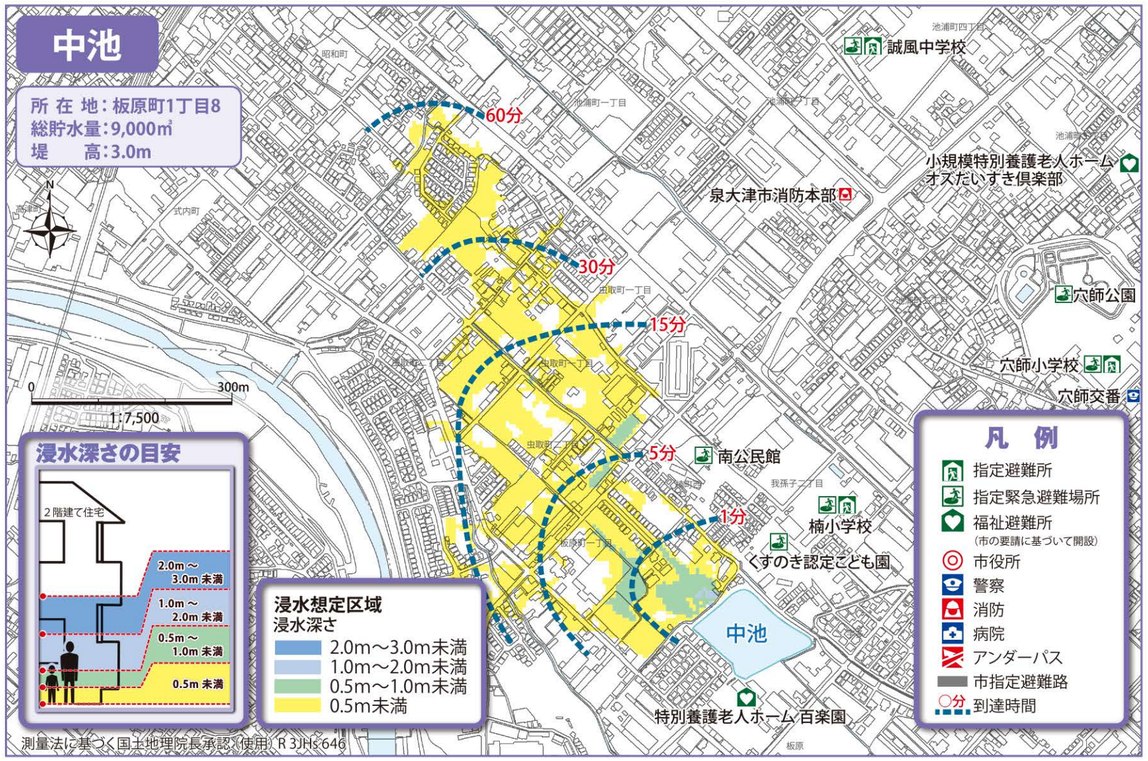
ため池ハザードマップの浸水想定区域は右頁の条件より求めています。

小寺池



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 646

中池



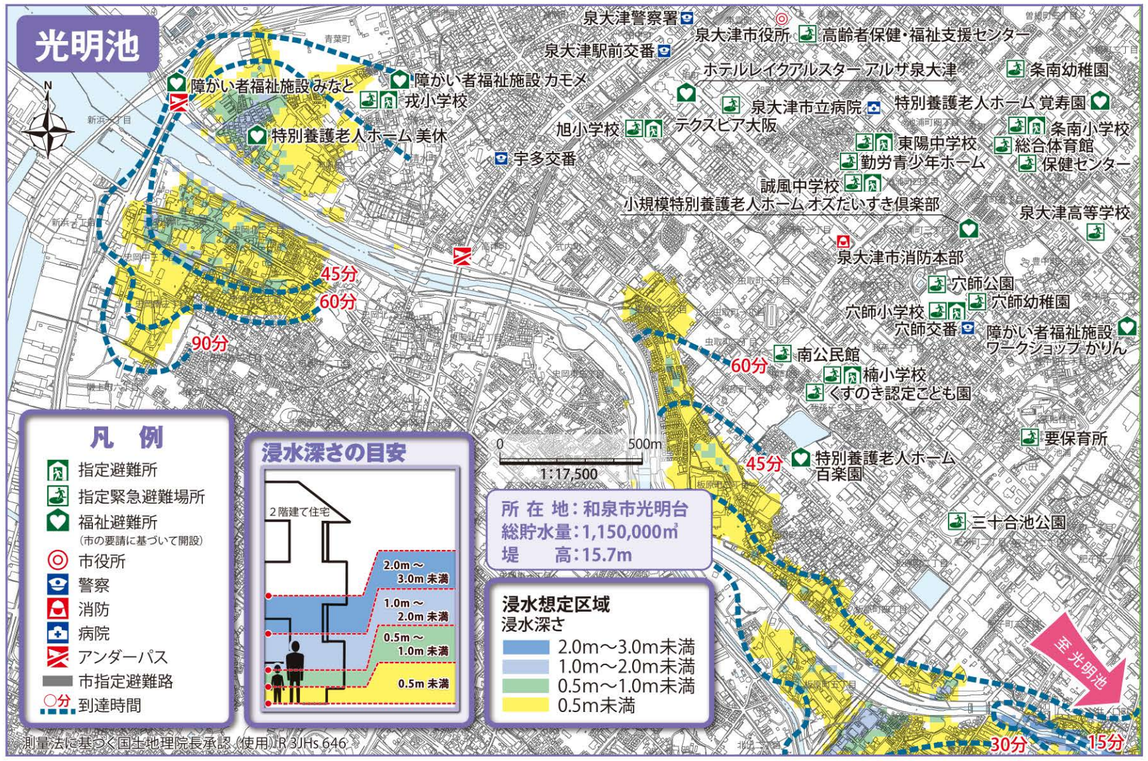
測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 646

【はん濫シミュレーションの条件】

①ため池が常時満水位状態のときに大雨や地震等によって堤防が決壊し、全貯水量が一気に流れ出すと仮定しています。

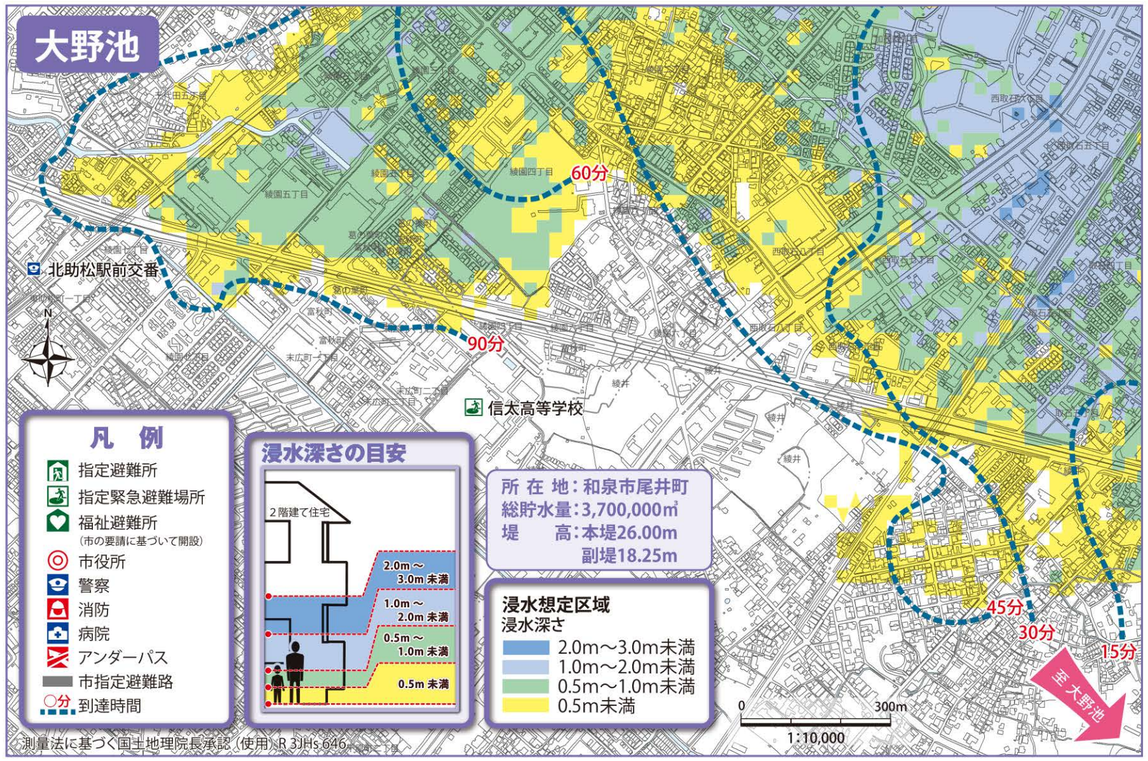
②決壊によって流出する水は、地形を5mの格子で表した数値モデルを用いて、その動きや場所ごとの水深等を計算により求めました。

光明池



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 646

大野池



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 646

（台風による大雨が予想されるとき）

マイタイムライン

（台風時）

作成日：　　年　　月　　日

退避のポイント

◆**避難は明るいうちに**
→夜間の避難は危険です！

◆**雨が強くなる前に避難**
→テレビや気象庁HPで雨や風が強くなる時間を確認

◆**自宅が安全な場合は自宅に留まる**
→ハザードマップで危険な場所（災害リスク）を確認

どこに避難する？

〈第１候補〉

〈第２候補〉

誰に声をかける？ 誰と逃げる？

〈声をかける人〉※近所の人や別居の家族など

〈支援者連絡先〉※手助けが必要な人は支援者を決めましょう

警戒レベルと状況	警戒レベル１ 今後気象状況悪化のおそれ	警戒レベル２ 気象状況悪化	警戒レベル３ 災害のおそれあり	警戒レベル４ 災害のおそれあり	警戒レベル５※2 災害発生または切迫
住民がとるべき行動	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認する	危険な場所から高齢者は避難※1	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保！
避難情報等	早期注意情報（気象庁） ※5日先までに警報級の現象が予想されるときに発表	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	高齢者等避難 （市町村発令）	避難指示 （市町村発令）	緊急安全確保※2 （市町村発令）
警戒レベル相当情報	▼該当する災害リスクにチェックを入れる	警戒レベル２相当	警戒レベル３相当	警戒レベル４相当	警戒レベル５相当
	□ 洪水等	▶氾濫注意情報	▶氾濫警戒情報	▶氾濫危険情報	▶氾濫発生情報
			▶洪水警報		▶大雨特別警報（浸水害）
	□ 高潮		▶高潮注意報（高潮警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報）	▶高潮警報、高潮特別警報	▶高潮氾濫発生情報※3
気象状況	台風発生・接近（早期注意情報の発表） ➡	雨や風がだんだん強くなる、川が増水する ➡	雨や風が強くなり、川が溢れそうになる ※急に猛烈な雨や風になることも		➡ 命の危険を感じるような風や大雨
	●危険度が高まる時間帯→テレビや気象庁HPで「早期注意情報」や「危険度を色分けした時系列」を確認（気象庁HP:https://www.jma.go.jp/jma/index.html）				
あなたの行動を記入	“推奨する行動”を参考に、警戒レベルごとの“あなたや家族の行動”を書き出しましょう				
推奨する行動	・災害の心構えを高める ・テレビ・ラジオの天気予報に注意する ・マイタイムラインを確認 ・家族の予定を確認 ・屋外の安全確認 ・備蓄品のチェック ・避難時の持ち物の準備	・ハザードマップなどで避難行動を確認 ・安否確認方法の確認 ・河川の情報に注意 ・危険地域に住む両親へ連絡 ・携帯電話を充電	・高齢者等とその支援者は避難開始 ・洪水時に早期避難が必要な区域内にお住まいの方は避難開始 ・その他の人も普段の行動を見合わせたり、自主的に避難を開始	・危険な場所にいる人は、速やかに全員避難 ・避難途中に危険を感じたときは、少しでも安全な場所へ（自宅や近くの頑丈な建物の上階など） 危険な場所から全員避難完了	・自宅や近隣の場所で緊急的に安全を確保 ・（少しでも上階に移動する、崖から離れた部屋に移動する等）







警戒レベル４までに必ず避難！

※1 高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難してください。
※2 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありません。
※3 水位周知海岸（高潮により相当な損害が生じるおそれのある海岸）において都道府県知事から発表される情報。
※4 各種情報は警戒レベルの順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。